

## (9月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込(%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込(%)	5カ年 平均	前年 入荷量(t)	前年 占有率(%)	
なし類		13,286	94	12,894	194	110	231	35	0.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸水は栃木産が上旬まで、福島産は中旬に切れ上がり、シーズン終了。</li> <li>・幸水は全般的に生育遅延と小玉傾向のまま終了を迎える。</li> <li>・豊水も品薄感が強く、新高、二十世紀の入荷見通しも前年の8割レベル。</li> <li>・全体の入荷量は前年より少なく、価格も前年を上回る見通し。</li> </ul>
りんご類		7,225	100	6,574	197	106	235	1,177	16.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つがる全般に開花の遅れと8月の高温が重なり、生育は遅れ傾向で玉伸びは小さめ。</li> <li>・小玉傾向だが食味は問題なく、つがる総体の価格は安値基調の前年に比べ強めの展開が予想される。</li> <li>・早生ふじの入荷は前年より遅く、9月に入ってからの方が強い。</li> </ul>
みかん類		4,961	100	4,667	260	103	325	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎を中心に静岡、長崎、熊本等から入荷。</li> <li>・ハウスみかんは中旬から順次終了し9月いっぱいではほぼ終了。極早生みかんは九州産を中心に上旬より始まる。本年産のみかん類は裏年にあたる中、春先の天候不順、梅雨明け後の高温の影響を受け、生産・入荷量ともに減少の見込み。</li> <li>・全体の入荷量はほぼ前年並、価格は前年を上回る見込み。</li> </ul>
ぶどう類		3,242	95	4,084	579	105	573	422	13.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巨峰の露地物は9月当初から始まるが、気温高のため着色が遅れ、量的にまとまってくるのは中旬になってから。</li> <li>・アレキサンドリア、甲斐路、ピオーネ等も銘柄間で着色進度にバラツキはあるが、玉張り、食味の仕上がりは問題ない。</li> <li>・着色の回復程度にもよるが、予想入荷量は前年より少なく、価格は入荷減を反映し、前年をやや上回る見込み。</li> </ul>
かき類		3,007	90	2,300	279	110	323	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刀根早生は中旬までハウス、露地との併用販売となる。和歌山、奈良産ともハウスの作況は安定している。露地物は春先の天候不順のため不作傾向。</li> <li>・全体の増加に伴い旬を追うごとに下げ気配が強まるが価格は前年を上回る見込み。</li> </ul>

(9月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込(%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込(%)	5カ年 平均	前年 入荷量(t)	前年 占有率(%)	
くり		969	110	928	417	100	381	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城産は9月1日、熊本産は8月下旬から販売が始まる。</li> <li>・生産量は不作の前年を上回り、潤沢入荷の見込み。</li> <li>・価格は弱めの展開予想だが、前年並を維持する見込み。</li> </ul>